

## 【学生たちからの声】

現代の若者が将来を担っていく事業だと思うので、若者が郷土論や地元のことについて若いうちから興味を持っていくべきだと思いました。その地域の特徴を活かして、未来をより良くするために努力されていると学び、とてもためになりました。今日から大田原に着目し、地産地消するなど、地域のために動きたいです。

那須野が原の水源の歴史について深く知ることができた。また、青木地区には青木サッカー場によく行っていたので、その地域がモデル都市としてどのように変化していくかが楽しみになった。そして、森林の問題やエネルギー問題について、人事だと捉えずに自分も関心を持って生活していきたいと思った。

電気は人の命を繋ぐことができ、とても重要な役割があると知りました。那須塩原を支えている団体や企業が多くあることを知りました。受け継ぐ人がいないと成り立たないことが分かりました。

那須野ヶ原は昔、石ころだらけだったことや火山灰の層が深くあったことにとっても驚きました。また、今よりも技術が発展していない時に水田を作る取り組みをしていることに昔の人の努力を感じました。以前、深山ダムに行ったことがあります。ダムの製作に多くの困難があり、多くの人の努力があることを今回の講義で知ることができて良かった。

那須野ヶ原に色々な歴史があることを初めて知りました。先人が行ってきた事をこれからの代の人達に受け継がれ森林や川などがこれからも良くなるといいなと思いました。動画での説明がすごく分かりやすかった。

今回の講義は、那須地域の歴史と那須での実現可能エネルギーの取り組みについて学びました。那須疎水に携わった人達から鈴木先生まで意志は受け継がれていることがわかりました。地域に企業がどのように密着し、利益を上げるため地域の人たちの共感性を得ることの難しさを知りました。地域の人たちから信頼や共感性を得るためには、地道に今の活動を継続し、もっと自分たちが何の理念で活動をしているのかネットや地域の施設、交通機関にて広告で広めればいいのかではと思いました。

持続可能な社会の実現のためにも環境に悪い影響が及ばない間伐や水素発電などで地元のアピールをされている。自分にも何かスキルや専門知識を活かして地元らしさを伝えられるようになりたいです。地元愛が強く、地域の発展に尽力していてすごいと思いました。

那須疏水が三大疏水に数えられる程の素晴らしい疏水地になったことには、過去に様々な実業家が尽力し大規模な計画が行われたことが影響していると知りました。本当に素晴らしいことであり那須を本気で開拓していこうとする意思が感じられて感動しました。

現在の水の豊かな那須野が原があるのは先人達がさまざまな努力をしていたことを知りました。持続可能なまちをつくるためには間伐をしたり太陽光発電をしたりすることが大切だと思いました。先代の人たちが地域にかけてきた思いや行動を地元に応えたいです。

那須地域の水資源について昔とても厳しい状況だったことを初めて知り、そこからの開拓を行った偉人たちのすごさを改めて感じました。持続可能な那須塩原を作っていくための具体的な会社での事業など、地元の人々が貢献する事が大切だと感じました。

水を吸い込んでしまう那須塩原高原の地で昔の人達が努力をして、ダムを作ってくれたおかげで、私たちは今豊かに暮らすことができていると分かりました。

那須塩原がとても歴史ある地域で、たくさんの人が那須塩原のためを思って尽力されて今の那須塩原があることに感銘を受けました。自分の生まれ育った日光市にも日光を思って努力された方がいるのかなと気になりました。

那須高原の水路で作った電気を那須で消費するという地産地消のような環境をつくるために様々な活動をされていて、既に公共施設に電気を提供する等実現に近づいていらっしゃる事が素晴らしいと思いました。

森、木だけで那須野ヶ原に還元できるような事業が多くあり驚きました。歴史を辿りながら那須町の魅力などを細かく知ることが出来て良かったです。

持続可能な社会をつくるには新たなエネルギー源を開発する必要があると思いました。

人の信頼を得るためには、共感が大切だと分かりました。子孫の財産のために行動した先人の思いを受け継いで、次の歴史を切り開くという言葉が心に残りました。危機を乗り越えるために地域資源を利用し、その地にしかできないことをしていくことが重要で、私の地元では何に置き換えることができるか考えることができました。

今回の講義を受けて、那須塩原市周辺の水は様々な困難を乗り越えた先にあったことを知ることができました。また、地域を活性化させるには、他からの援助も大切だと学びました。

地元を持続可能な開発をしているのは、今の自分たちの為ではなく次世代の人たちに受け継ぐ為であることが分かりました。同じ世代の人と話していても同じ考え方であることが多いので、異なる世代の意見や、これからの未来を築いて行く私たち 10 代 20 代の意見がとても貴重であることが分かったので、地域や地元の為に何か小さな事でも行動してみようと思いました。

地域の特性を活かして持続可能な開発をしようとしていることに感銘を受けました。森林伐採は私もあまり賛成ではなく、自然を守りながら持続していけるような社会を作ってほしいと思いました。今回の講義を聞き、人間が自然を破壊することなく自然を活かして発展できるような取り組みが増えてほしいと思いました。

持続可能な那須野ヶ原に向けて那須疏水を使って電力を作っていることが分かりました。500 年分の太陽光をつくることは大変だと思いました。街を良くするために色々と行動されているのが素晴らしいと感じました。

環境にやさしいまちづくりには視点の違う私たちの意見が求められ、若い世代がまちづくりの鍵になることが再認識できました。地域資源を活用して、この町でしかできないことをすることが大切であると学びました。そのためにも、今できることをやり、次に繋げていくことが重要だと感じました。

水を求めて数々の先人たちが努力を重ねた結果今の大田原、那須塩原があることに驚きました。誇りを持って生きていきたいです。

郷土とは先人達が築いてきた文化や歴史や土地、自然を、次の世代に受け継ぎ、さらに良くしようと地域全体で取り組むことだと考えました。鈴木先生が先人たちの思いを引き継ぎ、新しい那須野ヶ原を作ろうとされているように、次の世代に繋げるということが一人一人の役目だと感じます。それに加えて、さらに地域をより良くするためには、1つの世代だけが頑張るのではなく、若い世代や違う地域の方の意見など、異なる意見の交流が新たなアイデアを生み出すと考えます。ビジネスについてのことや、那須町を観光地としてどう盛り上げるか等を考えることができました。

昔の那須野ヶ原は、水資源を確保するのにとても大変だったことが分かりました。また、那須町、那須塩原市、大田原市の3つの地域が最大の扇状地ということも初めて知りました。現在のような農業が盛んになるまでには、様々な努力があつて川や用水路などがあると、水資源をいかに大切に使用していくかを考えることができました。また、これからの世界は、化石燃料を使うのではなく、水素エネルギーを用いる時代になっていき、

自動車もガソリンとかではなく水素エネルギーになると、とても環境に良いことが分かりました。ただ、水素を燃料とするエンジンや機械がこれからどのように作られて、広がっていくのかとても気になりました。ボランティアでは続かず、ビジネスとしてやっていかないと成り立たないというのが自分の中でとても腑に落ちました。

この講義を聞いて、脱炭素先行地域があることを初めて知りました。また、林の間伐の活動や水素を使用したことなど様々な活動が行われていることも知りました。解決していくための課題も多くあることも知ることができたので、自分も関わり参加していくことが大切だと思いました。

これまで地球温暖化が進んでいく中で、ニュースなどから脱炭素について聞くことが増えていたので、自分の新たな発見や気づきを得られ、良い機会となってとても良かったと思います。

昔の人たちの行動がなければ、今この場所に水が届かないことを知ることができたので、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、またこの事を伝承していけるように色々考えていきたいと思いました。講義していただきありがとうございました。

那須は昔水が全然ありませんでしたが、昔の人が試行錯誤を繰り返してこれからの町のために様々なことに取り組んでくれたおかげで、今こうして農業や畜産業が発展して人々を支えていることを知ることができました。また、木を使って、那須らしい製品の開発に力を入れ、地域の森や文化などを守っていることを知り、地域は色々な方法で学ぶことができると分かりました。自分の地元がどのような独自の取り組みをしているのか調べてみようと思いました。

2050年までに二酸化炭素排出ゼロに向けて那須地区の広大な土地を活かして環境にクリーンな水素エネルギー、再生エネルギーを作り、良い方向に変化していますが、実現するためには莫大な費用と市民の協力が必要不可欠ということを学びました。

郷土とは地域を次の世代に繋げて地域を強くするという考え方が素敵だと思いました。電気会社は難しいイメージがありましたが、子供たちと一緒に、木に触れて森林の大切さを学ぶイベントなど地域の資源を生かした持続可能な社会を作っていることを知り、少し身近に感じるすることができました。ボランティアではなくビジネスとして行うことで、持続可能なエネルギーを作っていくことができると分かりました。

那須野が原の開拓の歴史について良く知ることができました。資源を大切に使おうと思

ました。エネルギーを利用して市を発展させようという気概を感じました。鈴木さんの大田原に対する思いや、普段あまり詳しく聞くことが出来ない持続可能な開発について学ぶことができ、とても有意義な時間になりました。

人が協力し、地域を盛り上げてくれたおかげで今があるのだと感じました。みらい電力によって出た利益の使い道や、那須の木を使った鉛筆作りの話が面白かったです。

地域の活性化に向けて、たくさんの人がたくさんの努力をしてきたから今の大田原市、那須塩原市があるんだなと思いました。

木の資源が日本中に溢れてるのにも関わらず、海外から輸入してきていることを知り、資源の無駄遣いだなと感じました。

水素イオンを再生エネルギー源として那須塩原市の特色にするという活動が素晴らしいと思いました。水の大事さを学びました。清潔な水が使えることに感謝したいです。

那須は観光地なので、水素で走るバスを使い環境を守っていくという話が印象に残りました。このような取り組みが実施され、増えていくことが環境を守るために必要なことなのだと思います。

私の家では農家をしていて、再生可能エネルギーの動物のフンから肥料を作ることに興味を持ちました。現在は水の潤う田園地域が広がっているので、那須野々原が昔は荒涼した地域と聞いてとても驚きました。

那須野が原地域が先人達の尽力のおかげで現在農業で栄えていることが分かり、先人達に敬意を示すとともにこの豊かな土地を未来に残していきたいと思いました。

様々な方法で自然や電力、人などを繋いでいて素晴らしいと思いました。私は那須の空気が綺麗なところがとても好きなので、バスなどを水素燃料にしてもっとクリーンな那須になるといいなと思います。まず水道を通すために活動しようと考えた事が素晴らしいと思いましたし、1度失敗しても頑張ろうという考えになることに感動しました。本当に様々な人のおかげで今の那須野々原がある事が分かりました。

今回の講義を通して何事も諦めずに頑張れば報われる事があることを学びました。私もこれから上手くいかないことが沢山あると思いますが、つまずいたら立ち止まって原因を探り、進歩出来るように頑張ろうと思います。

昔的那須地域には水が不足していたことは知っていましたが、どのようにダムを作ったのかなどは詳しく知らなかったので、また 1 つ那須地域の歴史について知ることが出来ました。また、水を守るには森林を守る必要があるということも初めて知り、興味深く感じました。

地域の人に事業を理解してもらうことは簡単そうで難しいのだということが分かりました。特に鈴木先生が行っている電力事業は大部分の人たちが大手の東京電力などを使っているため、普及していくことは難しいことなんだと思いました。しかし、その中でも公共の施設などと連携して事業拡大を進めていच्छり、たくさんの努力があったのだと感じました。

那須地域が観光地であることも利用した産業・事業を行うことで、お金を得てそれをまた地域のために使うという考え方は地域社会を回していくのに良いと思いました。今後は若い世代にもこういった考え方を繋いでいかなければ、結局は社会を持続できないので、そのための取り組みにも力を入れていかなければならないことを知りました。

初めて聞く会社でした。歴史ある電気を作る会社だと分かりとても興味深かったです。

先人達が汗を流して豊富な水資源をもたらしてくれたことを知り、先人達に感謝すると共に、その大事な資源を守っていくために、普段から環境に気をつけてエコな生活することが大切だと思いました。これからは地域の未来の為に私たちが出来ることは何かを考えて、未来のために働きかけて行きたいと思いました。

購入するのに 1 本 50~80 円かかる鉛筆でも、その鉛筆が環境に好影響を与えているものだと考えれば、さらに高い値段で購入しようと思える人もいるのではないかというお話にとっても共感しました。

私たちの何気ない普段の生活が、一見関係の無いように感じる地球の裏側の自然までも関わることのできる場所かもしれません。そのため、省エネ型の家電製品を買う、プラスチックのゴミを出さないなど環境のために簡単なことから自分たちにできることを実践していこうと思います。

今まで山は人の手を加えない方が良いと思っていましたが、定期的に人の手を加えて整備する方が役目を果たしてくれるということを初めて知りました。

大田原市の人口は約 25 年後推計で 2 万人減少し、7 万人から 5 万人になってしまうにも関

わらず、必要とされるエネルギーは増え続けているという問題に触れ、改めて資源がどれだけ貴重なものか、その大切さを知らされました。那須疎水や深山ダムなど、私たちが恵まれた環境で過ごすことができているのは、先人の方々が未来のために尽力してくれたおかげなのだと感じの気持ちでいっぱいになりました。

私たちはこのように豊富な地域資源を未来につないでいくためにはどうしたら良いか、日々考え、取り組むことで地域の将来に貢献することができると思います。

鈴木先生の資源利用のための提案や取り組みからは、地元やその資源への思いの深さを感じられ、自分を顧みる良い機会になりました。